

2019

4月号

つなぐ

地域交流
イベントまちプラ春の文化祭
～笑顔の花咲く一日～

開催

3月24日(日)、まちづくり活動プラザで初の団体合同イベントが開かれました。ここは昨年旧入船北小学校を利用してオープンし、地域交流や市民活動のために利用されている施設。ここを活動拠点とする9団体を中心に、展示・販売、ワークショップなどが行われました。



▲入り口横はゆっくりと話しのできるスペース



▲手作り体験は大人にも子どもにも人気



▲子どもが遊べるコーナーにはチーバくんも登場



▲“スクエアステップエクササイズ”で脳と身体を健康に



▲ブックカフェではライブも開催



▲スタンプを集めて、ガラポンに挑戦

展示・販売 1階入口付近にはテーブルと椅子もあり、寛げるスペース。そこでは2つの団体が展示を行い来場者に活動内容を説明していました。屋外のテントではお弁当や焼き菓子、綿菓子販売の他、寄せ植えやペーゴマ、ミニゲームを楽しめるコーナーもあり親子連れを中心に、どこも多くの人でにぎわっていました。

体験・ワークショップ 2・3階では幼児から高齢者まで楽しめる体験コーナーが目白押し。キャンディ型のミニ風船を作った5歳の女の子の母親は「本物の棒キャンディより安全で、割れずに持ち歩けるのも嬉しい」とにっこり。抹茶を自分で点てるコーナーでは、子ども向けに粉量を調整してくれる温かい心遣いに子どもの参加者も大満足。介護予防体操の部屋には、しゃんと背筋を伸ばす高齢者の笑顔が溢れました。

女性シンガーソングライターによるライブは2回の公演がいずれも満席に。ライブ会場となったのはブックカフェ。随所に手作り感のある木のぬくもりが感じられる空間には「皆さんの心に響く歌声を届けたい」との思いが満ちていました。

春うららかな天候にも恵まれて多くの来場者が訪れ、団体や世代を越えて地域がひとつになった一日でした。

(市民ライター 武田めぐ)

市民活動団体の資金調達について学ぶ講座を開催

NPOと“お金”の話 ～知ってトクする資金調達～

2019年3月17日（日）、市庁舎協働会議室にてNPOの資金調達についての団体応援講座「NPOと“お金”の話～知ってトクする資金調達～」を開催しました。講師としてファンドレイジング・ラボ代表の徳永洋子さんをお招きし、市民活動団体や市民活動に興味のある参加者36人は、3時間の講座の中で資金調達について学びました。

あなたの夢はなんですか？

はじめに徳永さんから上記の問いかけがありました。同じテーブルのグループ内で一人ひとりが夢を語りはじめると会場は一気になごやかになり、かばんの中から団体を紹介するパンフレットを取り出す参加者もいて大いに盛り上がりました。夢の実現には「計画」、「仲間」、「資源」が必要であるという説明から、メインテーマである資金調達の内容に入りました。

資金調達の基本は「多様な資金源」と「各資金源の相乗効果」

資金源を増やすことには不安があるかもしれないが、積極的に取り組むことが活動の発展につながるから、どんどん挑戦してほしいと力強く語っていただきました。

寄付者の気持ちになって寄付メニューや仕組みを整備しよう

寄付集めにおいて大切なことは次の3点です。「寄付者の気持ちなる」、「多彩なメニューを用意」、「受け入れ体制の整備」。寄付をする側の気持ちになって考え、いろいろな人が寄付できるように複数のメニューを用意すること、そして、手軽に寄付できるような決済の仕組みを用意することが必要とのこと。最近では、インターネット経由でお金を集めることのできるクラウドファンディングも普及しているので、うまく活用することが重要とのこと。

資金調達の事例紹介

発達障がい児の未就学児を対象とした早期療育を提供している認定NPO法人発達わんぱく会の理事長である小田知宏さんから、資金調達事例としてJAMMINデザイン会社とのチャリティ・グッズ販売について紹介いただきました。これは団体の活動をイメージしたオリジナルデザインTシャツ・トートバッグを販売し、その売り上げの20パーセントを寄付というかたちで得ることができるチャリティプログラムです。このプログラムに参加したことにより寄付金を得ただけではなく、スタッフ全員が寄付をお願いするという経験ができたこと自体も成果であるとお話いただきました。



ファンドレイジング・ラボ
代表 徳永洋子さん



認定NPO法人発達わんぱく会
理事長 小田知宏さん



夢の実現のためには「募金が必要」ということを伝えることが大事

活発に活動をしていればみんなが気付いて寄付してくれると思ってしまいがちですが、それでは資金は集まりません。活動の理念に共感してくれる人や応援したいと思ってくれる人たちに対して、「募金の必要性」を明確に伝え、何か協力したいと思ってくれる人に対して、寄付する機会をつくってお願いすること、お願いし続けることが大切との言葉で締めくくられました。

直接活動にかかわらなくても、募金という形で団体の活動に参加でき、それが地域貢献にもつながるのだと改めて感じました。色々な形で市民が活動に参加できるように、多様な支援メニューを用意することは団体の活性化には欠かせないことだと思いました。

(市民ライター 西橋友理)



子育て中のママもリラックス！



～ガーデントーククラブの皆さんとつくる卓上ミニブーケ～

市民活動センターでは2月17日(日)から24日(日)に「うらやす NPO ウィーク 2019」が開催され、市民活動を紹介した展示や日替わりワークショップが行われました。私もワークショップの一つ「子育て中のママに贈るリラックスタイム！」(保育付き)を子育て中のママとして体験しました。参加者を温かいお茶とお菓子で出迎えたのは、市庁舎の花壇の手入れでまちの景観を良くする活動を行う「オープンガーデン・うらやす ガーデントーククラブ」の皆さん。実は市庁舎の花壇で冬も花が楽しめるのは、日常の手入れに加え、年に三度の植え替えを行っている皆さんの活動のお陰あってこそ。代表の城戸夫巳枝さんはティータイムを通じてママたちの子育て話に共感しながら、会場を温かい雰囲気包みます。続いて、冬でも花を咲かせる珍しい冬あじさいやホワイトレースが紹介されると、お花に詳しい参加者の方からも驚きの声が上がりました。

会場が和んできたところで、フラワーコーディネーターを講師に招き、卓上ミニブーケづくりへ。ピンクと白のグラデーションが珍しいカーネーションや二色のスイートピーなどがテーブルに並ぶと、初心者の方もワクワクしてきました。ガーベラなどの大きな花を三角形に、スイートピーなどの小さな花々を全体が丸くなるように置き、隙間に丸めたドラセナ葉を飾るとできあがり。同じ手順でも、切る長さや挿し込む角度、空間の作り方などによって一人ひとり異なる表情を見せるのが、何とも奥深いところ。

日頃何かに熱中する時間を作りにくい子育て中のママは「お花のことだけに集中できる時間が嬉しかったです」と顔をほころばせました。ガーデントーククラブの方々とのお話を楽しみ、時に励まされながら、途切れることのない子育ての日々の中でホッとする時間を味わうことができました。

(市民ライター 武田めぐ)



「パソコン教室に通ったけど、結局使えるようにならなかったんだよね」とため息をつく同僚にパソコンを教えたのをきっかけに、他にも同様に困っている方の役に立てればとパソコン練習会を始められました。

練習会ではまず参加者が何に困っているのか、何をやりたいのかを丁寧に聞き取ることからスタートします。その要望に対応したテキストを会の代表の土谷好晴さんがオリジナルで作成。テキストに沿って練習を進めます。その中では参加者同士で教え合うという場面も見られ、回数

を重ねるにつれ皆さん仲良くなってくるそうです。

「教わりに来ていた人が今度は教える側になれば、練習会の受入人数も増やせるので、そうなっていけばいいなと思っています。また高齢者の参加も多いので人との交流の場にもなっているのも会の魅力かな」と土谷さん。

パソコンを使えるようになって、仲間もできる。回を重ねるごとに参加者が増えている理由はここにあるようです。



「若者のための夏休みボランティア2019」受入団体募集!

若者が夏休みにボランティア活動を体験し、多様な市民活動があることを知り、その理解を深めることを目的として開催されます。

毎年、体験をきっかけに継続的にボランティア活動に参加するようになった若者もいます。みなさんの団体でも、ぜひボランティアを受け入れてください。

■ ボランティア受入期間:

7月21日(日)～9月14日(土)

■ 対象: 市民活動センター利用承認団体

■ 申込み方法:

所定の申込用紙に必要事項を記入し市民活動センターに直接または郵送、FAX、メールも可

■ 申込締切: 4月19日(金) ※必着

スケジュール

《初めての受入れ団体向け説明会》

- 日時: 申込み時に日程を調整
- 場所: 市民活動センター

《受入れ団体直前説明会》

下記ガイダンスの内容や進め方についての説明です。

- 日時: 7月12日(金) 18:30～20:00
- 場所: (未定)

《ガイダンス》

- 日時: 7月20日(土) 10:00～12:00
- 場所: まちづくり活動プラザ 体育館他

※参加者に団体から直接、活動内容や注意事項等について説明します。

「つなぐプロジェクト」プログラム募集!

つなぐプロジェクトは提案団体(市民活動団体)と連携団体(他の市民活動団体、自治会・老人会など地域活動団体、学校、企業、行政)をつなぐプロジェクト。お互いの「アイデアや資源」を出し合ってまちづくり活動に活かすためのマッチング事業です。

市民活動団体のみなさんの“地域お役立ち”プログラムをぜひご提案ください。

あわせて連携団体の皆さんのプログラム申込みもお待ちしています。

※プログラム提案カードはセンターにあります。またフォームをメールで送信も可。

編集後記

- これからは、団体さんの総会の時期。印刷室の利用が増え、その様子から「新年度なんだな」と感じます。資料を印刷し、帳合いし、止める。枚数も多いのでなかなかの作業量です。
- センターには紙折り機や中綴じホッチキスなどの便利な道具があります。少しでも作業を楽にできるようにご利用くださいね。



問い合わせ・申込みは
市民活動センターまで

発行: 浦安市市民活動センター
2019年4月10日

〒279-8501 千葉県浦安市猫実1-1-1 (市庁舎1階)
TEL: 047-305-1721 / FAX: 047-305-1722
E-mail: shimink@jcom.home.ne.jp
URL: http://u-shimin.genki365.net